

新藤総務大臣閣議後記者会見概要

平成 26 年 5 月 27 日

【経済成長を担う"データサイエンス"力の高い人材育成】

それから、三つ目であります。これはお手元に資料を配らせていただいておりますけれども、データサイエンス力の高い人材育成、これを目標といたしまして、今般ですね、総務省の統計局及び統計研修所が、これまでの統計リテラシーの普及・啓発を進めてきた経験を活かしまして、統計学会等と協力をして、二つの取組を展開してまいりたいと、このように思います。一つ目は、まず、データサイエンス・スクールというものの展開であります。これは、パソコンやスマホなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でもが気軽に学べると、そういう統計力向上サイト、今、ここに出ておりますけれども、このですね、データサイエンス・スクールというものを 6 月 1 日から統計局のホームページに開設をいたします。これはどういうことかということ、例えばですね、プレゼングラフの作成のポイントというのでありますと、商社マンが販売会社へのプレゼン用のグラフを作成するためにどうしたらいいかと。で、こういうデータに対してですね、実数値の棒グラフでは余地が大きいことが読みにくいと。そして、円グラフならすぐ分かりますよと。なので、円グラフは全体に対する部分割合を示すときには有効だとかですね、こんなようなこういう統計上の工夫、こんなふうにしたらどうだというようなことを出すということであります。それから、お約束でございますが、あなたの統計カクイズということで、これはもう、中級になるとかなり難しくてできませんので、さっきやったのですけど、本当に難しいのですよね。だから、こういうものでですね、これは何ですか、初級の関連。量的データを選べ。では、好きなスポーツ。花子さん は中学校で 1 学期に数学のテストが 5 回あり、花子さんの最初のテストの平均は 60 点であった。4 回目と 5 回目の得点が、どちらも 75 点の時、花子さんの 5 回のテストの平均点を、次の 1 から 5 のうちから選べと。どうでしょうか。1 から 5 まで、問題がありますが。これはですね、何でもいいのですが、真ん中の 3 番にしてですね、これ、とりあえず 10 問でしたっけ、10 問答えたところで、後で正解が分かるというので、要するに、データサイエンスって、正に統計のこと、統計学のことなのですけど、やはりこういうですね、統計がすべての基本でありますから、どんどんと活用していただこうと、こういう取組を更に進めていきたいと、こういうことでもあります。

それから、このデータサイエンス・スクールをホームページに開設することと併せて、二つ目はですね、今度は、皆さんの学びの場をサポートする、ウェブ上での誰でも無料で参加可能なオープンな講座「データサイエンス・オンライン講座」、これを今年度内に立ち上げたいと思っています。いわゆる「MOOC」の手法を用いた取組でありまして、この取組を通じて、日本の企業活動の活性化につながることを期待するということで、是非ですね、要するに、オープンスクールでございまして、大学か、もしくは何かの機関のところですね、総務省が提供する、この MOOC をやろうということで、これはかなり実践的なものになると思いますし、よく言われるのは、電子化を進めていく上でプログラミング教育、それから、人材育成、この中に少しでも役に立てばいいなと、こういう観点から始めたというふうに思います。